

65歳未満の公的年金等所得者の方へお知らせ

平成21年10月から公的年金等所得にかかる個人住民税が年金から特別徴収（引き落とし）される制度が始まったことにより、平成21年度は年金所得分を給与から特別徴収することができなくなり、普通徴収にて納付していただいておりますが、平成22年度の税制改正において、65歳未満の公的年金等所得に係る個人住民税の納付方法が変わりました。

◎給与と年金の所得がある方は

65歳未満の方で給与所得を有する方の個人住民税は、原則として年金所得分を含め給与から引き落としする方法（特別徴収）になりました。（平成20年度以前の方式に戻れることになりました。）

ただし、ご本人からの申し出により普通徴収の方法にて納めていただくこともできますので、税務係までお問い合わせください。

◎給与所得のない方は

従来どおり、口座振替または現金納付となります。

なお、65歳以上の方については、前年度と同様に年金所得に係る個人住民税は給与からの特別徴収はできませんので、注意してください。